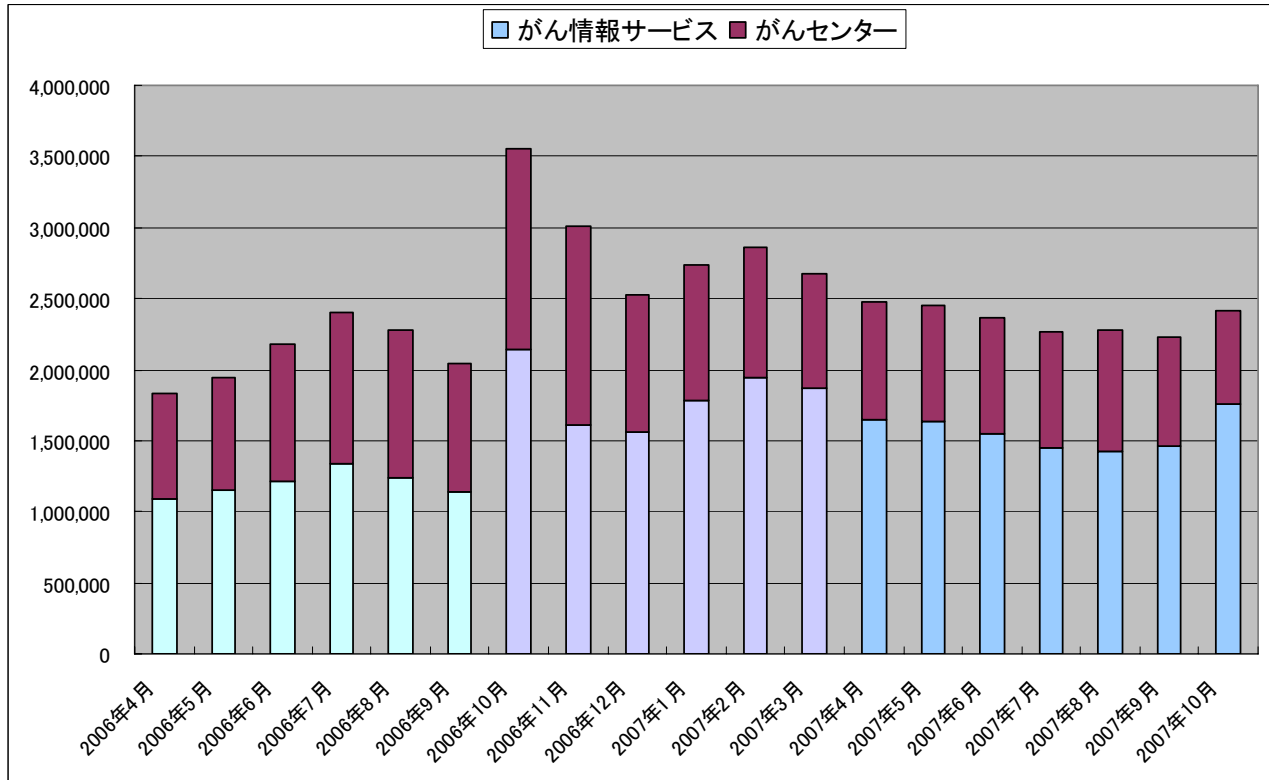


# 国立がんセンターがん対策情報センターの主な活動の報告

## 情報発信・提供関係

(国立がんセンターホームページアクセス件数状況)



2006年9月までは、国立がんセンターホームページでの情報提供の件数

※2006年10月から2007年3月までは、スタイルシート等ページ内容以外のファイルもカウント。

### ○ がん対策関連情報の追加

資料 1

8/17 都道府県がん対策推進計画の策定状況について (平成 19 年 7 月 26 日現在の状況)

8/30 都道府県別の 75 歳未満年齢調整死亡率

資料 2

9/26 がん統計都道府県比較 がん死亡部位内訳

9/27 がん対策推進基本計画 策定資料

### ○ イベント等

➤ がん情報サービス向上のための地域懇話会 平成 19 年 1 月より計 11 回開催

➤ 開催済み：福井県 (5/26)、岐阜県 (7/1)、長崎県 (7/14)、大阪府 (7/29)、  
富山県 (9/2)、広島県 (11/18)

➤ 予定 石川県 (平成 20 年 2/16)、福島県 (平成 20 年 2/17)

➤ 市民向けがん情報講演会

資料 3

◇ 第 1 回 7/15 『がん患者とその家族～家族ががんになったとき～』 588 名

◇ 第 2 回 11/3 『がん情報のさがし方 (2007)』 約 400 名 (集計中)

◇ 第 3 回 12/15 『「日本のがん医療を考える 2007」～がん対策に国民の視点は  
どう生かされていくか～』 (案)

◇ 講演会は多地点テレビ会議システムを用いて全国 18 地点に中継

- ◇ プレゼン資料をホームページに公開、動画配信。拠点病院にCDを配布予定
- ◇ 第2回では、「がん情報さがしの10カ条」名刺サイズカードを作成
- **メディア・セミナー**
  - ◇ 7/19 信頼のおけるがん情報という観点から見た健康情報捏造番組(薦めていい健康法とそうでないものの違い、エビデンスレベル)
  - ◇ 8/23 がん登録とは何か、なぜ必要なのか(評価しようのないがん対策、個人情報保護と公衆の利益)
  - ◇ 9/20 抗がん剤と重篤な副作用(抗がん剤と他の薬物の相互作用を含めて)
  - ◇ 10/18 医学研究と利益相反 Conflict of Interest、タミフル事件を例に(癒着と共同研究、どのように企業論理と公益を結びつけるか)
  - ◇ 11/15 未承認薬問題の本質は何か、根本解決にはどうすればいいか(なぜアメリカでは未承認薬が問題に 12/20 正確な5年相対生存率の算定)
- **第1回がん診療連携拠点病院連絡協議会**
  - ◇ 6月21日 全国のがん診療連携拠点病院代表者が参加
- **拠点病院ポスター作成配布** 資料4
  - ◇ 松竹配給映画「象の背中」とタイアップ
  - ◇ ポスター5万部を拠点病院、都道府県庁等に送付
  - ◇ 東京メトロ、都営地下鉄、東武、京成各駅および映画館(300館)で掲示
- **がん相談支援掲示板**
  - ◇ 使用開始 資料5
- **平成19年度冊子作成計画** 資料6

## サーベイランス

- 地域がん登録15支援地域のデータ収集・全国罹患率推定(2001年)
- 地域がん登録標準システム開発・導入(愛媛と山梨に導入・現地指導実施し、計8県で稼動)
- 院内がん登録標準システム更新・普及、院内がん登録標準登録様式に関する解釈本・Q&Aの公表・更新
- グラフデータベース更新 英語ページも公開(11/1)
- がんの統計'07掲載(11/16)

## 研修

- **放射線治療：平成19年度放射線治療計画にかかる研修【新規】**
  - 第1回 7月30日～8月3日 7名参加、第2回 9月10日～14日 7名参加
  - 第3回 11月12日～11月16日 7名参加
- **化学療法：平成19年度がん化学療法医療チーム養成に係る研修**
  - 第1回 9月27日～28日 45名参加、
  - 第2回 平成20年3月6～7日予定
- **緩和ケア：平成19年度緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会【新規】**
  - 10月13日～14日 78名参加 全都道府県より参加 資料7-1・2
  - 平成19年度精神腫瘍の基本教育のための都道府県指導者研修会【新規】**
    - 10月13日～14日 57名参加 全都道府県より参加
  - 平成19年度がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム研修会【新規】**
    - 11月17日 50チーム 200名予定
  - 平成19年度がん診療連携拠点病院緩和ケアチームワークショップ【新規】**
    - 第1回 11月18日 15チーム 60名予定
    - 第2回 平成20年1月13日 15チーム 60名予定
    - 第3回 平成20年2月24日 15チーム 60名予定
- **短期がん専門研修：平成19年度短期がん専門研修【新規】**

10月1日～3月31日 6名参加予定

○がん看護研修：平成19年度がん看護研修企画・指導者研修【新規】

第1回 7月31日～8月1日 71名参加、第2回 11月27日～28日予定

○院内がん登録に関する研修の実施

①院内がん登録実務者5日間研修

8/21～26日 受講者数70名、

②国立がんセンター中央病院の院内がん登録の実際の見学

平成19年7月20日、9月21日、10月12日、11月16日に実施

平成19年12月21日、平成20年01月11日、2月8日、3月14日、6月15日に予定

③国立がんセンターでの演習を含む研修会

平成19年8月27日から31日に実施

④全国7ブロックでの研修会

平成19年11月12日～13日 北海道ブロック

平成19年11月14日～15日 東北ブロック

平成19年11月19日～20日 九州沖縄ブロック

平成19年11月26日～27日 近畿ブロック

平成19年12月3日～4日 関東甲信越ブロック(横浜)

平成19年12月5日～6日 関東甲信越ブロック(大宮)

平成19年12月7日～8日 東海北陸ブロック

平成19年12月15日～16日 中国四国

○地域がん登録行政担当者・実務者講習会【新規】

平成19年11月29日～30日予定

○相談支援

➤平成19年度相談支援センター相談員講習会

第1回 6月10日 大阪府立健康科学センター(大阪府立成人病センター)40名参加

第2回 7月8日 四国がんセンター 52名参加

第3回 7月22日 北海道がんセンター 41名参加

➤平成19年度相談支援センター相談員基礎研修会【新規】

11月9日 なかのZERO大ホール 624名参加

相談支援センター研修カリキュラムの検討・テキストの作成中

## 多施設臨床試験支援

○支援中の臨床試験数は94試験(患者登録中のものやプロトコール作成中のものなど)

○支援中の多施設臨床試験の患者登録総数は964名(10月～8月分)

○医師主導治験(stage II/III 食道癌に対する化学放射線療法)の第I/II相試験)の直接支援。

○臨床試験登録のポータルサイトとして、大学病院医療情報ネットワーク研究センター(UMIN)、日本医薬情報センター(JAPIC)、日本医師会治験促進センターに登録されている、がん臨床試験の一覧を「がん情報サービス(がん対策情報センターホームページ)」から提供

○厚生労働省の未承認薬使用問題検討会議で取り上げられた薬剤のうち、がんに関連する医薬品の情報へのリンク集を「がん情報サービス(がん対策情報センターホームページ)」から提供

## 診療支援

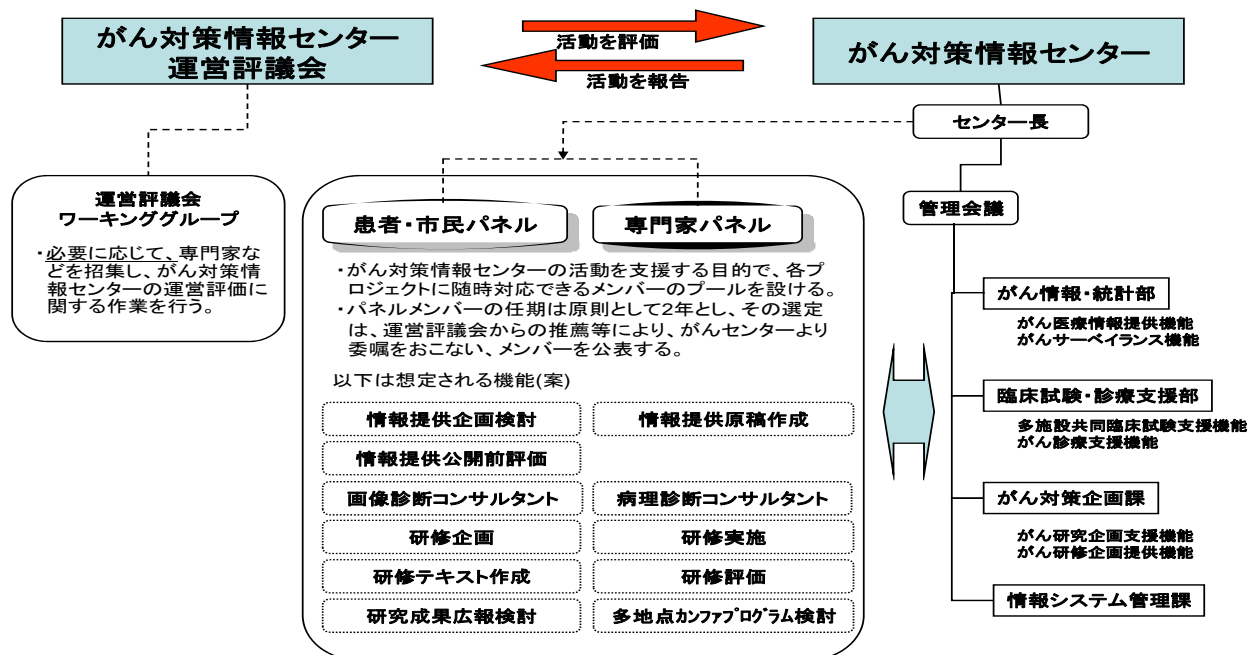
- 病理診断コンサルテーション
  - 実績：69件（平成19年4月～10月）
  - 平成19年7月からオンラインサービス開始
  - バーチャルスライドによる対応にむけて準備中
- 画像診断コンサルテーション
  - 実績：29件（平成19年4月～10月）
  - 平成19年7月からオンラインサービス開始
- がん診療画像レファレンスデータベース
  - 公開数：100件(日本語)、15件（英語）
- 放射線治療品質管理の支援
  - 実績：188件（H19年度4月～8月）
  - 11月から出力測定支援プログラム開始

## 運営評議会

- 第1回がん対策情報センター運営評議会（平成18年10月11日）
- 第2回がん対策情報センター運営評議会（平成19年3月7日）
- 第3回がん対策情報センター運営評議会（平成19年7月9日）
- 第4回がん対策情報センター運営評議会（平成19年9月28日）

患者・市民パネル、専門家パネル 設置に向けて準備中

### 運営評議会ワーキンググループ等について



国立がんセンター がん情報サービス

一般の方へ | 医療関係者の方へ | がん診療連携拠点病院の方へ

各種がんの解説 | 予防と検診 | 診断・治療方法 | がんにつき合う | 統計 | Q&A・関連リンク | 病院を探す

TOP > 統計 > 一般向け統計情報 > がん統計都道府県比較 75歳未満年齢調整死亡率

## がん統計都道府県比較 75歳未満年齢調整死亡率

更新日:2007年08月30日 掲載日:2007年08月30日

このページのデータは [統計表のダウンロード](#) でご利用になれます

**75歳未満年齢調整死亡率**

2007年4月、国のがん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として、「がん対策基本法」が施行されました。2007年6月にはこの法律に基づいて、「がん対策推進基本計画」が策定され、全体目標の一つとして「がんによる死亡者の減少」が掲げられました。「75歳未満年齢調整死亡率」はその評価指標として用いられています。この指標が用いられたのは、年齢調整率を用いることで高齢化の影響を除去し、75歳以上の死亡を除くことで壮年期死亡の減少を高い精度で評価するという理由に基づいています。

「がん対策基本法」では、各都道府県が国の「がん対策推進基本計画」を基本として、地域の状況を踏まえて「都道府県がん対策推進計画」を策定することとされています。ここでは、計画策定のための資料として、国および都道府県別の75歳未満年齢調整死亡率のデータを提供します。

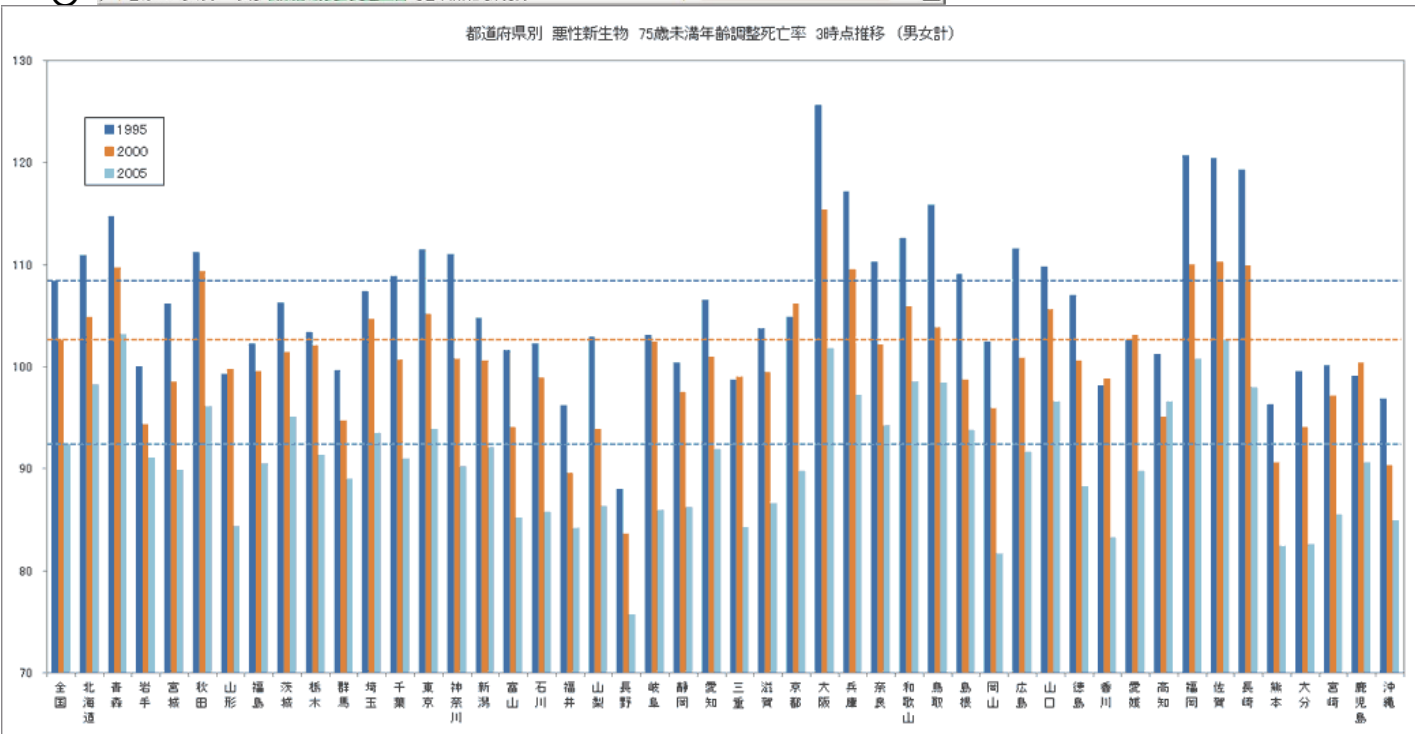
◆全がん

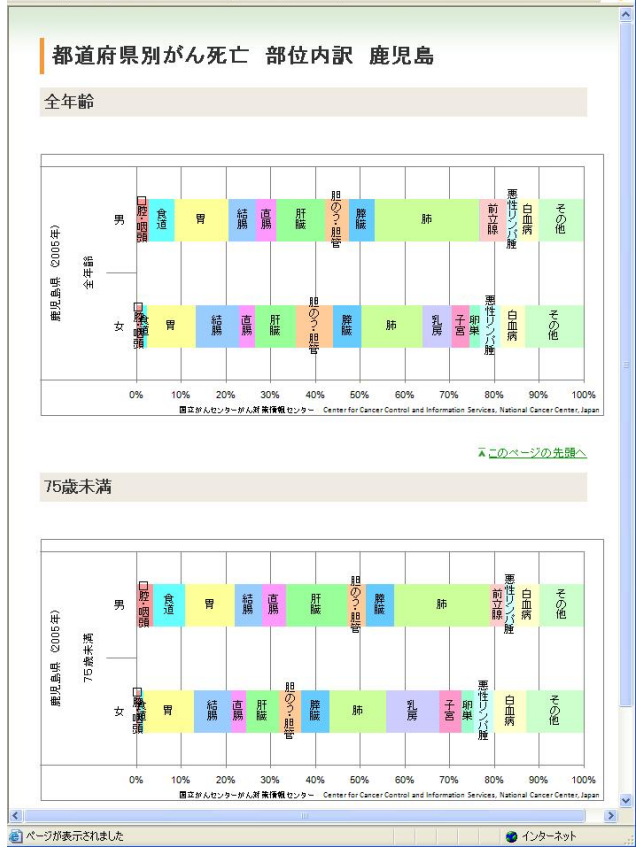
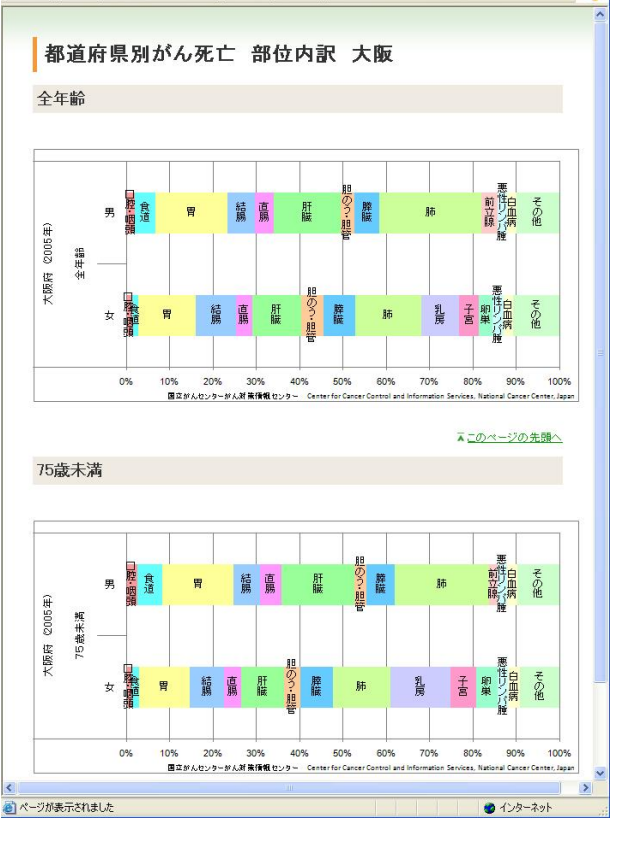
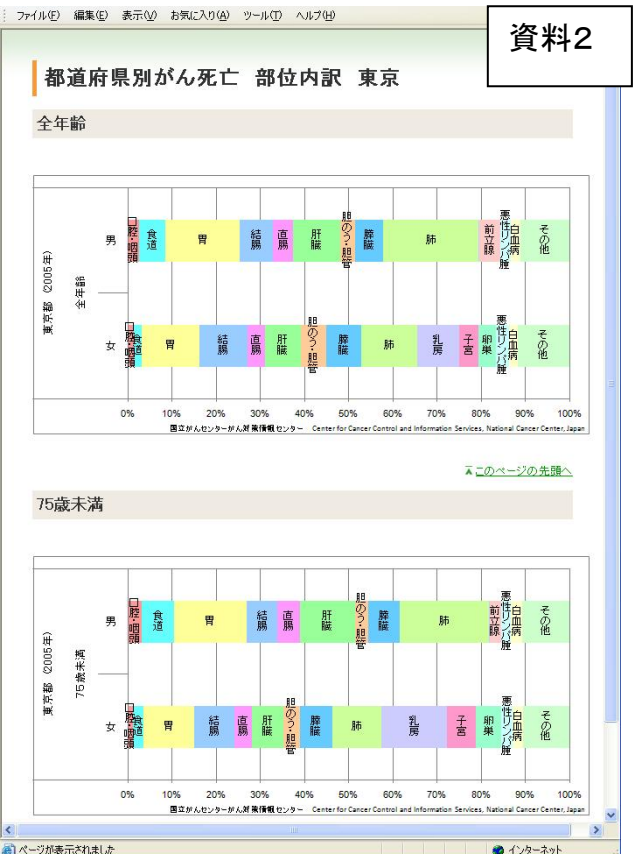
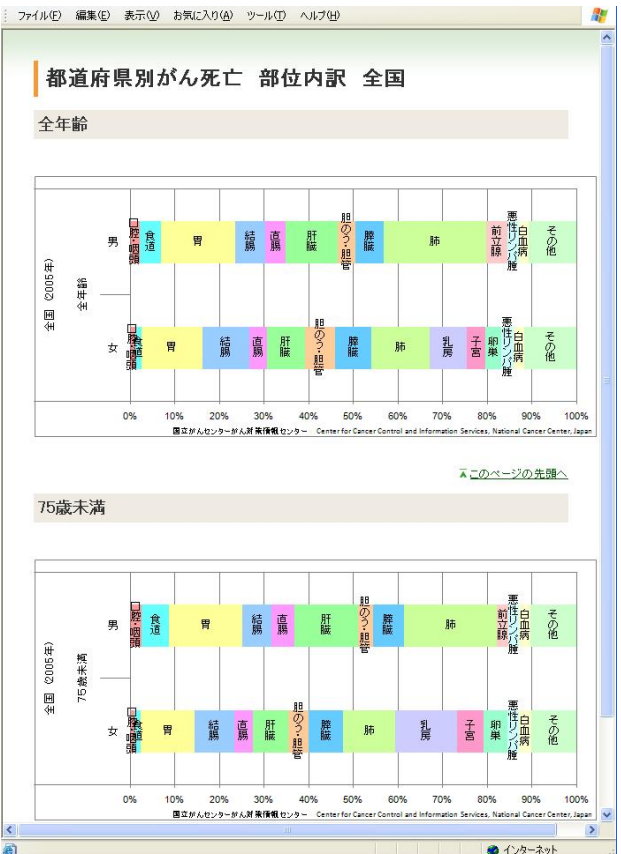


画像をクリックすると拡大表示します

- 1995年以降、全がんの75歳未満年齢調整死亡率は全国的に減少傾向にある。
- 全がん75歳未満年齢調整死亡率(男女計)が低い5県は、
  - 1995年 長野県、福井県、熊本県、沖縄県、香川県
  - 2000年 長野県、福井県、沖縄県、熊本県、山梨県
  - 2005年 長野県、岡山県、熊本県、大分県、香川県
- 高い5県は、
  - 1995年 大阪府、福岡県、佐賀県、長崎県、兵庫県
  - 2000年 大阪府、佐賀県、福岡県、長崎県、青森県
  - 2005年 青森県、佐賀県、大阪府、福岡県、和歌山県

このページのデータは [統計表のダウンロード](#) でご利用になれます





市民向け  
がん情報講演会

がんの予防や医療についての正しい知識を！

「がん患者とその家族  
～家族ががんになったとき～」

日程：2007年7月15日（日）13:30～16:00

講師：佐伯 俊成（広島大学病院 医系総合診療科）

「家族ががんになったとき～心という治療力を高めるための6か条～」

講師：田村 里子（東札幌病院 医療相談室ソーシャルワーカー：社会福祉士）

「がん患者の家族を支える～ありのままを毎日の暮らしの中から～」

対象：テーマに関心のある方 参加費：無料

会場：国立がんセンター築地キャンパス（東京・築地）

中継会場（多地点 TV 会議システムでご参加いただけます）

北海道がんセンター（北海道札幌市）	青森県立中央病院（青森県青森市）
岩手県立中央病院（岩手県盛岡市）	宮城県立がんセンター（宮城県名取市）
山形県立中央病院（山形県山形市）	群馬県立がんセンター（群馬県太田市）
茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	埼玉県立がんセンター（埼玉県北足立郡）
千葉県がんセンター（千葉県千葉市）	国立がんセンター東病院（千葉県柏市）
新潟県立がんセンター（新潟県新潟市）	静岡県立静岡がんセンター（静岡県駿東郡）
愛知がんセンター（愛知県名古屋市中区）	大阪府立成人病センター（大阪府大阪市）
呉医療センター（広島県呉市）	四国がんセンター（愛媛県松山市）
九州がんセンター（福岡県福岡市）	

参加申し込み方法：

お名前、ご住所、希望会場名をご記入のうえ、FAXまたははがきにてお申し込みください。

締め切り：2007年7月6日（金）17:00 必着。折り返し参加証をお送りします。

なお、受講のご希望が多い場合には、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

送付先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がんセンター がん対策情報センター 「市民向けがん情報講演会」宛

FAX: 03-3547-6074 TEL: 03-3547-5201 (ex. 5685)

当日受け付けは、会場に空きがある場合のみとなります。

主催 国立がんセンター がん対策情報センター

がん医療についての「正しい知識」を！

資料3

国立がんセンター がん対策情報センター主催

第2回 市民向けがん情報講演会

がん情報のさがし方

11月3日（土）13:30～16:45

国立がんセンター築地キャンパス（東京都中央区築地）

参加  
無料

講師 天野 慎介（NPO法人 グループ・ネクサス）

垣岡 健一（東京大学 医療政策人材養成講座）

若尾 文彦（国立がんセンターがん対策情報センター）

全国 17カ所の会場からもテレビ会議システムで参加できます。

北海道がんセンター（北海道札幌市）	茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	大阪府立成人病センター（大阪府大阪市）
岩手県立中央病院（岩手県盛岡市）	埼玉県立がんセンター（埼玉県北足立郡）	愛媛県立がんセンター（愛媛県松山市）
山形県立中央病院（山形県山形市）	千葉県がんセンター（千葉県千葉市）	四国がんセンター（愛媛県松山市）
茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	国立がんセンター東病院（千葉県柏市）	九州がんセンター（福岡県福岡市）
千葉県がんセンター（千葉県千葉市）	山形県立がんセンター（山形県山形市）	新潟県立中央病院（新潟県新潟市）
新潟県立がんセンター（新潟県新潟市）	静岡県立静岡がんセンター（静岡県駿東郡）	群馬県立がんセンター（群馬県太田市）
愛知がんセンター（愛知県名古屋市中区）	群馬県立がんセンター（群馬県太田市）	
呉医療センター（広島県呉市）		
九州がんセンター（福岡県福岡市）		

参加ご希望の方は、お名前、参加証送付先（住所、電話番号）、希望会場名をご記入の上、FAXまたははがきにてお申し込みください。

先着順に参加証をお送りいたします。  
参加申込は、主催者から印刷された申し込み用紙を提出してください。

「市民向けがん情報講演会」事務局（平日 10:00～12:00、13:00～17:00）  
〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 1-3-12 オークビル5階  
Tel: 0422-59-1809 Fax: 0422-59-1809 e-mail: ojinfo@ncc.go.jp  
このたびの講演会事務局は、オスカール・ジャパン株式会社委託しています。

当日の講演会プログラムはがん情報サービス（ウェブサイト）に掲載します。  
また、印刷された「がん情報サービス」に掲載します。  
いまだにがん患者は増える中、がんの予防や治療の最新情報を知りたい方は、講演会終了後は、国立がんセンターがん対策情報センターのウェブサイトをご覧ください。

主催：国立がんセンター がん対策情報センター <http://ganjoho.ncc.go.jp/>

『家族ががんになったとき～心という治療力を高めるための6か条～』 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

## 患者さんをささえる家族のための6か条

- がん情報を集めましょう
- 自分にどういった援助ができるかを考えましょう
- 患者さんの言動の変化や反復をあらかじめ想定しておきましょう
- 患者さんの要望をよく聞きましょう
- 患者さんの要望に沿っているかどうか常に確認しましょう
- 家族も自分の生活を大切にしましょう

平成19年度 第1回市民向けがん情報講演会『がん患者とその家族～家族ががんになったとき～』  
講師 佐伯 俊成  
広島大学病院 医系総合診療科

アウトライン

スライドタイトル	長さ
魚さんとは	00:47
魚さんをささえる家族の...	00:13
魚さんをささえる家族の...	01:09

残り：14分 15秒

00:06 / 00:13

がん情報さがしの10カ条

- ① 情報が、あなたの治療を左右することがあります。活用しましょう。  
・情報は力です。いのち、生活の質、おカネの点で、違いも生じます。
- ② あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。  
・解決したいことは？知りたいたいことは？悩みは？メモに書き出しておきましょう。
- ③ 主治医とよく話してみましょう。  
・あなたのがんを一番知っているのは主治医。時間をとってもらい、質問を。
- ④ セカンドオピニオン（別の医師の意見を聞くこと）を活用しましょう。  
・他の治療法や、もっと実績がある医療機関が選択肢となることも。
- ⑤ 医師以外の医療スタッフも活用しましょう。  
・看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師なども、大切な情報源です。

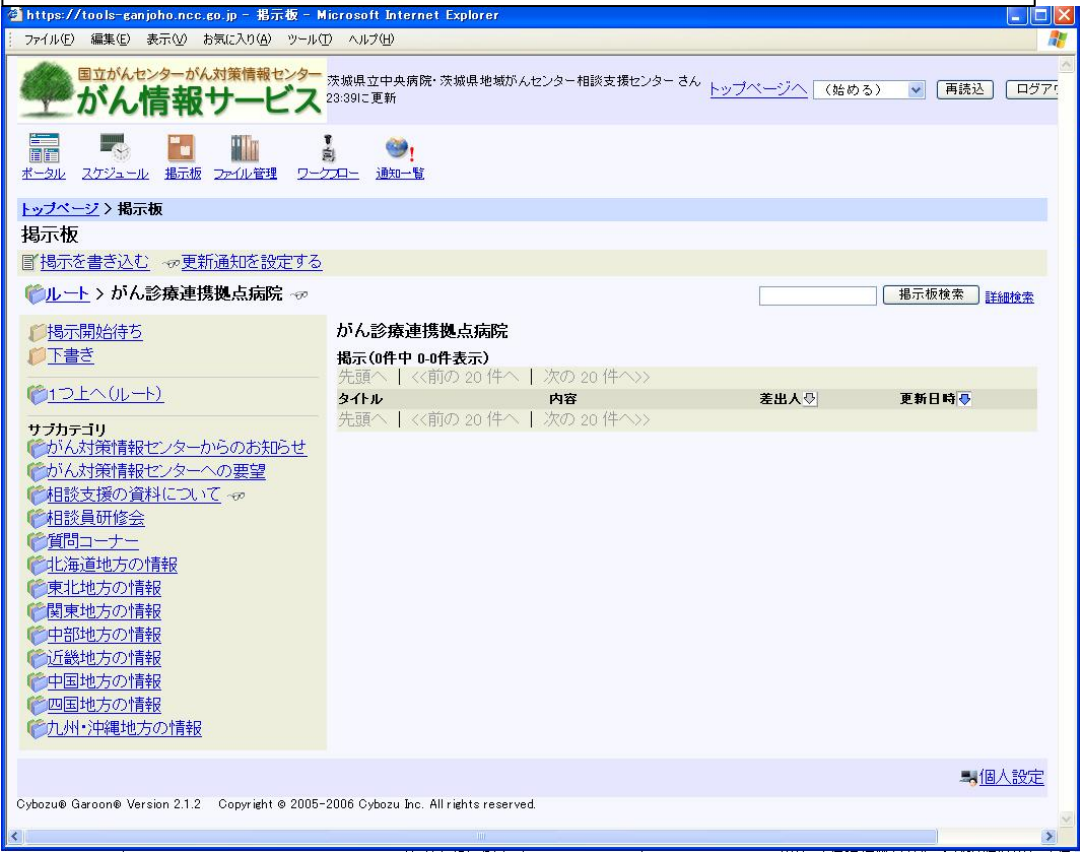
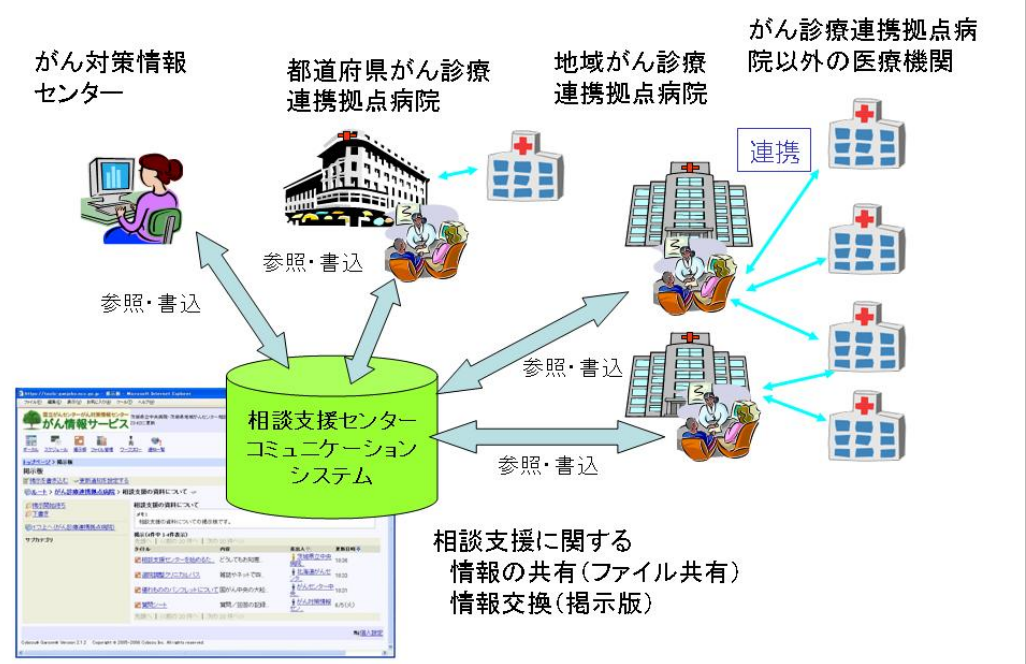
- ⑥ がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を活用しましょう。  
・がん病院、患者団体などに、あなたを助けるための相談窓口があります。
- ⑦ インターネットを活用しましょう。  
・自分で使えなくても大丈夫。使える人（ご家族やお友だち）に頼めば。
- ⑧ 手に入れた情報が本当に正しいのか考えてみましょう。  
・筋が通っているか、信頼できる情報源か、商品の売り込みでないか、注意。
- ⑨ 健康食品や補完代替医療の広告には注意しましょう。  
・がんへの効果が証明されたものは、ほぼ皆無。有害なことも。
- ⑩ 得られた情報を判断する前に、周囲の意見を聞きましょう。  
・主治医の意見はどうでしょうか？ご家族にも相談を。

『がん情報サービス』はこちら ▶ <http://ganjoho.ncc.go.jp/>  
国立がんセンター がん対策情報センター 2007年11月





# がん相談支援掲示板





1. 小児がん
  - ① 悪性リンパ腫
  - ② 横紋筋肉腫
  - ③ 神経芽腫
  - ④ ユーイング肉腫
  - ⑤ 骨肉腫
  - ⑥ 肝腫瘍
  - ⑦ 腎腫瘍
  - ⑧ 胚細胞性腫瘍
  - ⑨ 脳腫瘍
  - ⑩ 白血病
2. がんと心
3. がん登録
4. 緩和ケアチーム
5. がん療養と口内炎
6. 舌がんについて
7. 喉頭がんについて
8. 食道がんについて
9. 大腸がんについて
10. 肝細胞がんについて
11. 胆のうがんについて
12. すい臓がんについて
13. 腎細胞がんについて
14. 尿管がんについて
15. 膀胱がんについて
16. 子宮頸がんについて
17. 卵巣がんについて
18. 前立腺がんについて
19. 肺がんについて
20. 悪性中皮種について
21. 胸腺腫について
22. 悪性リンパ腫について
23. 慢性骨髄性白血病について
24. 多発性骨髄腫について
25. 悪性黒色腫について
26. Paget(パージェット)病について
27. 悪性繊維性組織球症について
28. 髄膜種
29. 聴神経鞘腫について

# すべてのがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修

## 緩和ケア 指導者研修会

各都道府県における  
緩和ケアの指導者を育成

○国立がんセンター等において、緩和ケアの普及啓発を牽引する、各都道府県における**指導者の育成を目的とした指導者研修会を開催**

○各都道府県において、指導者研修会を修了した医師を講師として、がん診療携わる医師を対象とした、**緩和ケアについての基本的な知識を習得することを目的とした研修会を開催**

指導者研修会を  
修了

都道府県

## 緩和ケア 研修会

地域の  
緩和ケア指導者

## 緩和ケア 研修会

研修会に参加



地域のがん診療に携わる医師

研修会に参加



地域のがん診療に携わる医師

平成 19 年度緩和ケア都道府県指導者研修受講者数（都道府県別）

資料7-2

	緩和ケア	精神腫瘍
北海道	2	1
青森県	2	1
岩手県	2	1
宮城県	1	2
秋田県	1	1
山形県	1	2
福島県	1	1
茨城県	2	2
栃木県	1	2
群馬県	1	1
埼玉県	2	1
千葉県	1	1
東京都	2	1
神奈川県	2	2
新潟県	2	1
富山県	1	1
石川県	1	2
福井県	2	1
山梨県	2	1
長野県	2	1
岐阜県	2	2
静岡県	2	1
愛知県	1	2
三重県	2	2
滋賀県	2	1
京都府	2	1
大阪府	1	1
兵庫県	2	1
奈良県	2	1
和歌山県	2	1
鳥取県	2	1
島根県	2	1
岡山県	2	1
広島県	1	1
山口県	2	1
徳島県	2	1
香川県	2	1
愛媛県	2	1
高知県	2	1
福岡県	2	1
佐賀県	1	1
長崎県	2	1
熊本県	1	1
大分県	1	1
宮崎県	2	1
鹿児島県	2	2
沖縄県	1	1
合計	78	57